

# 西中だより

平成28年度 No.8  
平成28年 6月10日  
須賀川市立西袋中学校  
発行責任者 鶴巻 弘士

&&& 早朝奉仕作業ありがとうございました &&&

- 6月4日(土)に行われたPTA奉仕作業には、多くの保護者の皆様と生徒の参加をいただき奉仕作業が行われ、ありがとうございました。お陰さまで、校庭もプールもさらには野球のバックネット周辺やソフトテニスコートの内側などが、非常に綺麗になりました。重ねて御礼を申し上げます。

よく「環境は人を育てる」と言われます。草が生い茂り、ボールを捜すのにも苦勞する練習環境とすぐにボールが見つかる環境とを比べれば、自ずと生徒のやる気に差が生じてくるのは明白です。これからは学校ではできるところまでは、精一杯環境整備を行いたいと考えています。

- 時には、子ども達がどのような環境で練習しているのか、人的環境とも併せてご覧ください。そして、少しずつですが、成長している姿を保護者の皆様の目でしっかりと見てください。そして、夕食の話題にしてほしいと思います。

— 奉仕作業の様子 —



・・・綺麗に清掃された校地・・・



◆◆◆ 小中一貫教育(小中合同交通教室を開催) ◆◆◆

- 6月6日(月)西袋学区内にある南部自動車学校をお借りして、昨年に引き続き小中合同の交通教室を開催しました。昨年度学習した経験は、今年度の1年生の自転車通学に十分生かされています。正しい自転車の乗り方、安全な走行に必要なこと、自転車走行のルールを守らないで事故を起こした場合の加害者としての責任内容等について、具体的に学びました。これからは安全運転を続け、無事故無違反で過ごしてくれることを願います。



《 校長のつぶやき 》 …… 部活動の大切さ ……

- 植物が苗から実をなすまでに成長する過程では、支柱を使います。子どもも小学校、中学校という義務教育の段階では、同じように支えが必要です。例えば、担任の先生、家族、仲の良い友達などです。しかし、それらは外面的な支えであり、内面的な支えは、自分自身の精神的な成長です。それは、「自分自身のよさ」「他人より優れている点」といったものです。それが、「自分を支える自信」となっていきます。こうした内面の成長は、第三者の手を借りて身に付くものではありません。自分自身で様々な経験を通して、少しずつ習得していくものだと考えます。その機会と場が、学校においては部活動です。運動部では、練習を重ねて試合に出場する。文化部では、コンクールに出場したり、作品を出品したりすることです。こうした活動を繰り返し経験していくうちに、子どもは内面的にも少しずつ逞しく成長していくのだと思います。周囲はその変化を見守り、応援してあげるのがよいのではないのでしょうか。